

平成28年度 県立高津養護学校 不祥事ゼロプログラム

平成29年3月

番号	取組課題	目標	行動計画	検証結果
1	法令遵守意識の向上 (公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	教育公務員として神奈川県職員行動指針の厳守	① 服務規律に関する研修会を実施し、全職員の法令遵守意識をさらに高める。	① ○ 月1回の職員会議の中で、「神奈川県職員行動指針」の各項目に沿って、その内容を点検表を使って各自チェックし、法令遵守意識を高めた。
2	わいせつ・セクハラ行為の防止	相手(児童生徒・同僚)の人権の視点に立った行動	① 夏季休業中に、スクールセクハラをテーマに人権研修も兼ねた研修会を実施し、全職員の根絶意識をさらに高める。	① ○ 7/22に「スクールセクハラの防止」をテーマにNPO法人より講師を迎えて研修を実施。グループ討議を中心にして人権意識を高めあった。
3	体罰、不適切な指導の防止	人権を重視した職場づくりと子どもの気持ちに合わせた指導の実行	① 誤解を受けるような身体接触や言葉づかい等について、相互に注意し合える環境を作る。(指導体制作りを含む)	① ○ 指導の実践が児童生徒の人権を意識して行われているかどうかを学部会や分教室会の中で月1回は触れ、児童生徒の気持ちに寄り添った指導の実践に努めた。
			② 学校全体で児童生徒を大切にすることを高める。	② ○ 多角的な支援が必要な児童生徒については、企画会議の中でその内容や進捗状況を確認し、全校で支援する体制を確認し、関係機関との連携を強化した。
4	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	保存期間を過ぎた卒業生の進路関係の書類はゼロ	① 夏季休業中に、進路支援係を中心として、卒業生の書類を整理し、保存の必要のないもの、保存期間を過ぎているものは破棄する。	① ○ 夏季休業中に保存している文書ファイルを各グループで総点検し、保存期間の過ぎているものは、所定の手続きのもとで破棄した。
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 (パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報等の適正管理の徹底	① 月に1回、セキュリティチェック票を用いてWindowsUpdateやウイルスチェック等を全員が行う。	① ○ チェック方法を紙ベースからポータルサイト上でのチェックに変更し、チェックを簡素化するとともにチェックの徹底を図った。
			② 情報持ち出し用USBメモリの管理を着実にを行うとともに、月に1回のたな卸しを行う。	② ○ 情報持ち出し用USBメモリの取り扱いのルールを徹底するとともに、その管理を確実にを行い、さらに月に1回のたな卸しを実行した。
			③ 携帯電話への個人情報の登録などについて、速やかな申請手続きの徹底と年度末の破棄の確認を確実にを行う。	③ ○ 職員の携帯電話への登録は原則行わないことを確認したうえで、やむを得ない場合は、登録申請と年度末の破棄を徹底した。
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守の徹底	① 長期休業前の職員会議で注意喚起をする。(事例等を挙げ、交通安全意識を向上する。)	① ○ 長期休業前の職員会議での注意喚起を徹底し、交通法規の遵守を図った。今年度の交通事故、酒酔い・酒気帯び運転は、ゼロであった。
7	会計事務等の適正執行	私費会計システムの円滑な移行	① 会計処理に関する新たなマニュアルを作成し、研修会、説明会を実施して、新システムを理解し、会計処理を確実にを行う。	① ○ マニュアルの作成、複数回の説明会の実施を経て、分教室会計と本校会計を一体化し、システムの簡素化と会計事務の省力化を図った。
8	全般	一人ひとりが日々不祥事ゼロ意識を持った行動	① 12月に不祥事防止に関わる管理職との個別面談を全職員が実施する	① ○ 管理職との個別面談は実施できなかったが、月1回の職員会議で事例を出しながら注意喚起をし、全員で不祥事ゼロを目指した。
			② ヒヤリハットが生じたときは、朝の打合せ時に報告し再発防止につなげる。	② ○ ヒヤリハット・アクシデントについて管理職への報告を徹底するとともに、朝の打ち合わせでの全体への報告も習慣化し、再発防止に努めた。